

ほほえみ

川北町立橋小学校
令和7年1月8日(水)
NO.7

あけましておめでとうございます。新しい1年のスタートです。今年を健康に過ごすための目標をなにか考えてみませんか。私は、「たくさん笑う心」が目標です。「笑う」と、脳のはたらきがよくなったり、病気になるにくくなったりするそうです。笑顔あふれる1年となりますように。

さむ〜い

冷えから体を守ろう

寒いによる体の冷えから、頭やお腹が痛くなり、保健室へ来る人がいます。こんな工夫ができますよ。

温かくする工夫

3つの「首」を温めよう

「首・手首・足首」の3つを温めると体がポカポカになるよ。マフラーやてぶくろ、くつ下を工夫しよう!

運動をしよう

ストレッチ

ストレッチをしよう

心臓を動かすと、体に流れる血の量がふえて体がポカポカになるよ。

栄養をとろう

ごぼうやにんじん、ねぎなど冬の旬の食材には体を温めるはたらきがあるよ。

熱をつくる工夫

かぜ、インフルエンザやコロナにご注意を

手あらいできてる?

とくにトイレのあと、手あらいをせずそのまま...という人をよく見ます。

体温計 正しく使えていますか?

わきのあくまで下から入るよ。自分の平熱も知っておこう。

保護者の方へ

裏面もあります
ご覧ください

節目反応について

震災から1年を迎えるにあたり、本紙裏面に子どもたちの心のケアに関する資料を掲載しました。節目反応は、大人も子どもも、誰にでも起こり得るものです。そのため、「反応が出ないようにする」のではなく、「安心して反応が出せるようにする」こと、そして「反応に適切に対処する」ことが大切です。もしお子さんの様子で気になることがありましたら、学校へご相談ください。

スクールカウンセラーの来校予定について

1月	9日(木)
	16日(木)
	23日(木)
	30日(木)
2月	6日(木)
	13日(木)
	20日(木)
	27日(木)
3月	6日(木)

- 本校のスクールカウンセラーは、森 千鶴さんです。予約をご希望の方は、学校へお知らせください。
- 原則、木曜日の8:30~11:30に来校です。(都合により変更の場合もあります)
- 左記の日程で都合がつかない場合は個別に対応します。学校へご相談ください。

感染症にご注意ください

1月も感染症の流行拡大が懸念されています。体調が悪い場合は無理をせず、受診をお願いします。なお、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症は出席停止となりますので、学校へご連絡ください。

登校再開日早見表

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
新型コロナウイルス	発症	症状軽快	症状軽快	症状軽快	症状軽快	症状軽快	登校再開		
インフル	発症	解熱	解熱	解熱	解熱	解熱	登校再開		

登校再開条件:

- コロナは「かつ症状が軽快した後1回を経過するまで」
- インフルは「かつ解熱後2日を経過するまで」

基本「発症日を0日目として5日を経過するまで」

子どものみなさんへ

地震から1年がたつ時に 気を付けてほしいこと

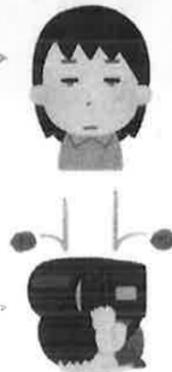
大きな地震の1年後などのふし目をむかえる頃に、こころや体の調子がいつもとちがって感じる場合があります。

下のようなことがあったら、親や先生など、身近な大人に相談してくださいね。



からだ なんだか気もちわるい・頭が痛い・おなかが痛い・くらくらする
息がしにくい・トイレに何度も行きたくなる・おねしょ など

気持ち なにもしたくない・食欲がない・ねむれない・いらいらする
すぐおこってしまう・なんとなく不安・いなくなりたい など



行動 たたいたり物を投げたりしてしまう・そわそわする
いつもできることができない など

その他 何もしていないのに涙がでてくる
車が通ったりして、ゆれるとこわい など

このほかにも、いつもの自分と違うと思ったら、そのことを大人と話してみてください。おかしいことでも、はずかしいことでもありません。

こころがけてほしいこと

- いつも通りの生活リズムで過ごしましょう(食事・遊び・学習・すいみん)
- 楽しいと思えることをしましょう
- 大人と一緒に過ごす時間をもちましょう
- 気持ちを話せる人は、大人に聞いてもらいましょう
- 無理をせず、つらい時は「つらい」と言っていいます

安心できる大人と一緒に過ごしましょう



節目反応

大きな出来事・つらい出来事から、1カ月・1年などの節目に、こころや体がいつもと違った状態になることを節目反応といいます。

つらい反応ですが、たくさんの人に起こる、普通の反応です。

多くの場合は、しばらくすると元のこころと体の状態に戻ることができます。

発行：石川県こころの健康センター(2024.12)

このパンフレットに関する問合せ先/石川県こころの健康センター相談課(TEL 076-238-5750)

保護者や身近な大人の方へ

節目反応について

- 節目が近づいてくると、無意識に心身が反応してしまいます。これは、出来事が起こった日付と一緒にその体験が記憶されるためです。
- 節目が近づくと震災を振り返る報道番組や映像が増え、きっかけになりやすいです。メディアによる取材を受けることもあるかもしれません。復興のためのイベントをつらく感じる人もいます。
- 節目反応は、何年も続くことがあります。子どもの場合、今は大人に近づいていたとしても当時は幼かったため、非常に怖い体験として記憶しており、震災の時期になると不安定な状態になることがあります。
- 反応の出方は様々です。子どもは、自分の状況や気持ちをうまく表現することができないので、「いつもと違う」ことに大人が気付いてあげることが必要です。表面のようなことのほかに、地震ごっこなど出来事の再現をしたり、当時の絵を描いたりする子もいます。

節目反応の対処法について

子どもに必要な事は、「安心・安全・睡眠」です。子どもがいつも通りの生活を安心して過ごせるよう整えることが大切です。

また、節目反応は子どもだけでなく大人にも起こる反応です。子どもは大人の状態の影響を受けるので、大人のこころの状態を整えておくことがとても大切です。

- 心身に不調があらわれる「節目反応」は「誰にでも起こる」ことを知っておく
- 自分のこころや体の反応に注意を向けておく。
- 目から入る情報(映像・動画・写真等)に気を付ける。特に映像は、体験を思い出すきっかけになりやすい。
- その日を迎える時の自分の活動を考え、準備し、実施する。旅行などに出かけて、非日常的に過ごす方法もあります。
- 自分を支えてくれる人とゆっくり過ごす。
- リラックスする時間を作る。腹式呼吸・軽いストレッチなどもおすすめです。

つらい時には誰かに相談してみることもおすすめです。匿名で相談できたり、夜間休日に相談できるところもあります。お子さんも利用できます。

心身への影響が強かったり長引いたりして心配な時も、ご相談ください。

電話相談

- 石川こころのケアセンター(平日9:00~17:00)
0120-333-247(フリーダイヤル)
- こころの相談ダイヤル(24時間365日)
076-237-2700(平日9時から平日17時)
0570-783-780(平日17時から翌日9時/土日・祝日 0時から24時)
- こころの避難所相談電話(日曜日・12月29日から1月5日は毎日:午後1時~6時)
0120-111-916(フリーダイヤル) ※主催:日本精神衛生学会

ちょっとしたこと
愚痴もOK!



LINE相談

- 生きざらびっと(毎日午前8時~午後10時) ID検索 @yorisoi-chat

